

分科会では精神保健福祉分野に関心のある 13 名の方が参加。それぞれの近況や抱えている悩みについて報告された。

- ・ P S W (精神保健福祉士) を取得し、実習先から声がかかりそのまま就職した。現在は退職しているが、職員の配置や役割など考えることがあった。
- ・ P S W を 2 回目で取得。D 市で勤め始めて 1 週間がたつ。今日はパワーをもらいに来た。
- ・ 精神障害者家族会に参加。精神保健福祉について学びたくて本学を選択した。現在、当事者と家族の相談に応じながら権利擁護について勉強している。
- ・ 精神科病院に勤務していて、精神保健福祉について学びたかった。臨床美術も勉強している。大学で学んだことが、とても生かされている。
- ・ 地元に戻り相談支援専門員をしている。期間をかけたが無事卒業できて良かった。人とのかかわりを大事にしている。
- ・ 精神科病院で医療相談員をしている。元々は看護助手だったが P S W の国家資格について知り、周囲の協力もあって無事卒業できた。たまたま欠員があり精神科病院で働くことができた。理学療法士と医師との間を取り持ったり、S S T (Social Skills Training の略で、「社会生活技能訓練」や「生活技能訓練」などと呼ばれる) 等をしている。講義で学んだことを振り返り、新たに知識や技術を習得しながら自分を成長させていきたい。
- ・ 市の職員として福祉手続きの業務を行っている。業務の中で先生の名前を聞くこともあり懐かしく感じている。
- ・ 精神科・認知病棟で働いている。連携の中で何処まで情報共有すべきか悩むことがある。
- ・ 精神関係の勉強を教えている。最近 P S W を取得した。相談支援員として災害時の対応にあたり、専門的・組織的に活動していけるようネットワーク作りに携わった。専門性をさらに向上していけるよう専門機関で働いている。
- ・ 就労支援 B 型の施設で勤務し、これまで数人の利用者の方を一般就労に結びつけることができた。
- ・ 精神科病院で看護師をしていたが、P S W を取得したことで、実習先の精神障害者グループホームで日常生活を支援している。やりがいもあるけれども、数十人の生活を支える難しさから、大切な支援計画が後手になっているという現状がある。
- ・ P S W を取得。N P O、地域活動支援センターで施設長をしている。最近はアスペルガー症候群の方の対応に困っている。
- ・ 福祉心理学を専攻していた。臨床美術の方で学びを深めている。人生の伴走者として支えることを学んだ。精神科領域や認知症領域の P T (理学療法士) をはじめ、子どもや社会人を含め、絵を描くことで「表現する時間」を共有することを通して支援している。

<志村先生より>

個人情報に関わるため詳細は省くが、参加者それぞれの報告や抱える悩みについて具体的なアドバイスがあった。

また、組織的な問題については、「自分の中で消化するのか、あるいは目をつぶるのかは人それぞれ。いずれにしても、誰のために働いているのかを考え、職場内で自分と価値観を同じくする人や頼れる存在を見つけ、組織の中で耐える力、相談する力を身に付け、職業人として頑張りたい」と精神保健福祉の現場で働いている参加者、日常や地域社会において本学で学んだ福祉を実践している参加者へエールが送られた。